

Phonak Target

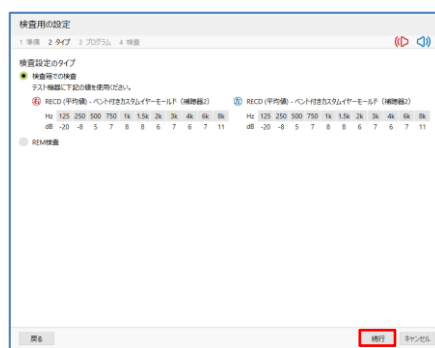
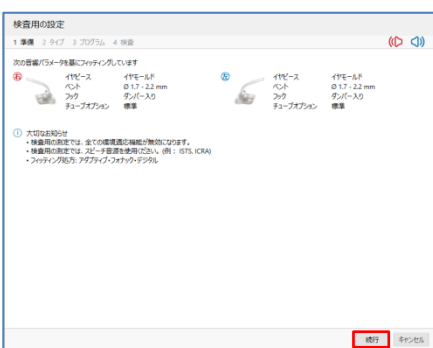
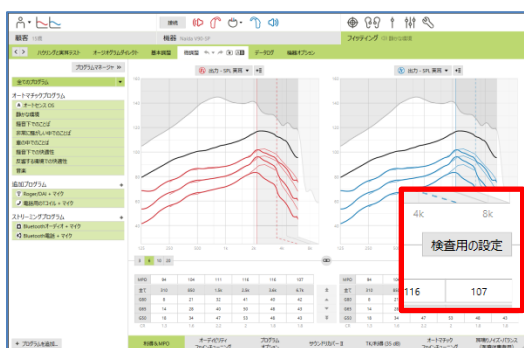
検査用の設定について



Phonak Target には補聴器の装着状態での周波数特性測定を行うための「検査用の設定」をご用意しています。この機能は、「フィッティング」タブ内の「微調整」画面にある、利得と MPO 画面からアクセスできます。

操作方法 (画像は Target 4.3)

※検査用設定では、補聴器を HI-PRO および NOAHlink から外すことができません。



1. 微調整の「利得と MPO」画面にある「検査用の設定」をクリックします。

2. ウィザード形式で進みます。補聴器の音響パラメータを確認します。検査用の設定でも 同じ値を採用します。「続行」をクリックして次に進みます。

3. 測定の種類を選択します。補聴器特性測定装置を使用する場合は、「検査箱での検査」を選択します。RECD(実耳カプラ差)の値が表示されます。「続行」をクリックして次に進みます。



5. この画面で補聴器の検査をします。

補聴器のマイクロホンオン/オフ (ミュート)

4. 「検査中に使うプログラム」では、測定に使用する補聴器のプログラムをスタートアップ、もしくは他のプログラムから選択します。「調整した内容の反映先」では、検査中に行った補聴器の調整内容を検査中のプログラムのみにも反映するか、他の全てのプログラムにも反映するかを選択します。「続行」をクリックして次に進みます。

検査用の設定状態のまま、補聴器の利得/MPO の調整やサウンドリカバリーのオン/オフができます。

検査用の設定

出力/利得表示の切替 (検査音:スピーチ)

追加情報

フィッティング処方: アダプティブ・フォノック・デジタル
マイクホンモード: 無指向性

動作中プログラム: 静かな環境
調整が適用されるプログラム: 全てのプログラム

出力 - SPL 2cc

MPO	99	97	103	110	107	73
全て	310	850	1.5k	2.5k	3.6k	6.7k
大きい	13	15	25	33	32	7
普通	19	22	33	42	41	13
小さい	23	28	40	45	41	13
CR	1.3	1.6	2.2	2	1.8	1.6

利得&MPO サウンドリカバー-II

OK キャンセル

「OK」をクリックすると終了します。